

第4学年3組 総合的な学習の時間学習指導案

単元名：二分の一成人式を開こう

「感謝の気持ちを伝えよう」

本単元で育成を目指す資質・能力【知識・技能】【自尊心】【協働・協調する力】

指導者 呉市立広小学校 細谷 尚吾

日時 令和2年2月21日（金）（13時45分～14時30分）

場所 呉市立広小学校 第4学年3組教室

学年 第4学年3組（男子16名 女子15名 計31名）

単元について

本校は、第4学年時に二分の一成人式を行う。本単元は、二分の一成人式を行う理由について考える中で、自分自身の生きてきた過程やできるようになったことを振り返る活動を充実させ、自己肯定感を培うことをねらいとした単元である。また、なりたい職業について調べる中で、将来の夢や希望をもち、自分のよりよい生き方を探る単元である。これまでの自分の成長を振り返り、自分に関わってくれた人達への感謝の気持ちを表現するとともに、これからの自分のよりよい生き方を考えることができるようになることをねらいとしている。

児童の実態について

児童アンケートを行うと、自尊心に関わって「自分の良さが認められていると思う」と答えた児童は75%であった。「自分の良いところが言える」と答えた児童も78%と自己肯定感や自己有用感が低いことが分かる。しかし、「自分には良い友達がいる」と答えた児童は90%以上で、「家族が好きである」と答えた児童も90%以上おり、友達や家族などの自分を助けてくれる存在は感じている。協働・協調する力に関わって「学校では、友達と助け合って活動している」と答えた児童は91%であった。

単元の目標及び評価規準

【単元の目標】

- 二分の一成人式を通して、これまでの、自分の成長を振り返り、自分に関わってくれた人達への感謝の気持ちを表すとともに、これからの自分のよりよい生き方を考えることができる。

【評価規準】

資質・能力	具体の姿
知識・技能	成人式の歴史を調べ、二分の一成人式を行う意味や意義（自分の成長や感謝を伝えること）を理解することができる。 既存の職業について調べ、職業に就くための方法等、理解を深めることができる。
自尊心	10年間の家族の思いを聞いたり、家族への感謝の気持ちや将来の夢を伝えたりすることを通して、自分が大切な存在だと気付くことができる。 自分が将来就きたい仕事や人の役に立てることに気付くことができる。
協働・協調する力	友達と協力し、二分の一成人式の会場の準備を行う。 友達と協力して話し合い、調べたりまとめたりして、発表内容を考える。 友達と協力し、二分の一成人式を行う。

指導と評価の計画

(全20時間)

本時は19/20

【単元を貫く課題】感謝の気持ちを伝えよう。

次	時	学習内容	評 価	
			評 価 規 準 (評価方法)	校区で設定する 【資質・能力】
一	3	<u>課題の設定</u> ○ 二分の一人式があることを知り、単元について話し合い、共通の課題をつくり、自分達にできることを考える。	・二分の一人式に行われている活動などについて調べ、活動内容を考えることができる。 (ワークシート, 発言)	【協働・協調する力】
二	5	<u>情報の収集</u> ○ 成人式の歴史を調べる。 ○ 家族や友達にインタビューを行う。	・成人式の歴史について調べ、行う意味や意義を理解することができる。 (ワークシート, 発言) ・家族や自分の印象深い思い出や出来事について情報を集めることができる。 (ワークシート)	【知識・技能】 【自尊心】
三	10	<u>整理・分析</u> ○ 今までの自分を振り返り、発表の文章をつくる。 <u>新たな課題の設定</u> ○ 全体の中で文章を発表し、良い点や改善点を交流する。 <u>情報の収集</u> ○ 気持ちを伝えるための文章表現や、なりたい職業について調べる。 <u>まとめ・創造・表現</u> ○ 文章を推敲し、発表原稿を完成させる。	・お互いの良さを模倣したり工夫したりして、より良いものをつくろうとする。 (ワークシート, 発言) ・今までの出来事だけでなく、将来の夢などを入れてよりよい表現で文章にすることができる。 (ワークシート)	【協働・協調する力】 【知識・技能】 【自尊心】
四	2	<u>実行</u> <u>振り返り</u> ○ 二分の一人式で発表する。 (本時1/2) ○ 単元の振り返りを行う。	・自分の思いを文章で表現し、自信を深めることができる。 (ワークシート, 発言)	【自尊心】

本時の学習

(1) 本時の目標

- 自分の思いを伝えることで、自分について自信を深めることができる。

(2) 本時の学習展開

学習活動	指導上の留意事項 (◇) (◆は「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て)	評価規準 (評価方法)
1. 気づきの交流と本時のめあての確認 (10分)		
<ul style="list-style-type: none"> ○ 今までの活動を振り返る。 ○ 本時のめあてを確認する。 	<p>◇ 家族へのインタビューや自分自身で振り返る中で感じた思いを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; background-color: black; color: white; text-align: center; padding: 2px; margin: 5px 0;">導入の工夫</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習の様子の写真などを掲示し、学習活動で感じた思いを振り返りやすくする。 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 家族やたくさんの人の支えがあった。 ・ 1人で大きくなれたわけじゃない。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0; text-align: center;"> めあて 二分の一成人式を行い、自分達の思いを伝え合おう。 </div>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; display: inline-block;">児童の気づき</div>
2. 課題の解決 (30分)		
<ul style="list-style-type: none"> ○ 家族に対する感謝の気持ちを呼びかけにして行う。 ○ 一人一人が自分の思いを表現した文章を発表する。 	<p>◇ 家族に対する思いが伝わるように練習してきたことを想起させ、呼びかけを行うことを確認する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>児童の発表例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 僕たち、私たちは十歳になりました。「宿題をせずに叱られたこと」「一緒に遊んだこと」少し思い返ただけでも、たくさんの思い出がよみがえってきます。悩んだり、泣いたりした時、いつも温かく支えてくださり、ありがとうございました。これからも悩んだり、泣いたり、時には生意気なことも言うかもしれません。そんな僕たち、私たちをこれからも見守っててください。 </div> <p>◇ 友達の将来の夢やその理由を伝え合うという視点で、友達の発表内容や発表方法のよかったところをメモに書き留めることを確認する。</p> <p>◆ 発表するときに、自信がない児童にはメモを見返すよう助言する。</p> <div style="border: 1px solid black; background-color: black; color: white; text-align: center; padding: 2px; margin: 5px 0;">学び合い</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 発表を聞きながら、発表する際の視点を基に、友達のよかったところを書き留める。 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>児童の発表例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 僕の将来の夢は○○です。○○には、～ということからなりたいたいと思い始めました。そのために、今から□□なことを頑張っています。これからも見守ってください。 ・ 私の将来の夢は○○です。○○には、～となれるようです。今は、こんなことを頑張っています。絶対○○になります。 </div>	

<p>予想される児童のメモの例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ A君は〇〇になるために、今から□□を頑張っていてすごいと思いました。僕も夢のために頑張ろうと思います。 ・ Bさんは〇〇になる方法を具体的に調べていて、それに向かって努力していて絶対になりたいという気持ちが伝わってきました。 		
まとめと振り返り		
○ 本時のまとめをする。	◇ 発表を終えた後の感想を具体的に記入できるように助言する。	・自分自身について自信を深めることができる。 (発言, ワークシート) 【自尊心】
<p>まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 二分の一成人式を通して、家族の大切さや自分自身の大切さに気付くことができた。 		
3 振り返り (5分)		
○ 振り返りをする。	<p>・「自分の発表を聞いた家族はどのように感じたのか」という振り返りの視点を示す。</p> <p>予想される児童の反応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の気付かないところで、家族やいろいろな人に支えられて大きくなったことを実感しました。感謝の気持ちを忘れずに、自分も誰かの支えになれるといいなと思いました。 ・ 将来の夢について、具体的にどんな学校にいったらいいのか、どんな勉強が必要なのか分かってよかったです。絶対に〇〇になりたいと思います。 	

(3) 本時の資質・能力ルーブリック

【自尊心】	A	家族に対する感謝の気持ちをもって発表したり、自分の将来の夢を発表したりして、自分について自信を深めることができた。
	B	自分の将来の夢を発表して、自分について自信を深めることができた。
	C	家族に対する感謝の気持ちをもって発表したり、自分の将来の夢を発表したりすることができない。

単元で育成を目指す資質・能力に係る成果と課題

【成果】

「知識・技能」

- ・ 自ら進んでインターネットを活用して、成人式の歴史を調べ、二分の一成人式を行う意味や意義（自分の成長や感謝を伝えること）を理解することができた。

「自尊心」

- ・ 家族へのインタビューを通して、10年間の家族の思いを聞き、児童の振り返りから「小さい頃の思い出を覚えてくれてうれしい。」「子育てに苦労していることが分かり、大切に育ててもらったということが分かった。」「名前の由来を聞いて、大切な存在だということが分かった。」など記述が見られた。これらのことから、自分の存在が大切な存在であることに気付き、自尊心を育てることができた。

「協調・協働する力」

- 二分の一成人式を行うことへの意欲が高まり、協力して活動することができた。
- 本やインターネットを活用して、既存の職業や職業のなり方などについて教え合いながら調べることができた。そして、まとめ方について話し合いながら分かりやすい発表について考えることができた。児童の振り返りから「家の人に、自分達で協力して発表している姿を見せることができようがんばった。」「成長している姿を見せることができるよう、協力して準備したり行動したりすることができた。」という記述が見られた。そして、二分の一成人式に向けて自分の思いをまとめ、伝えることができた。

【課題】

「自尊心」

- 家族へのインタビューを通して、家族から自分の幼少の頃のエピソードなどを十分に聞くことができなかった児童がいた。全員の児童が自己肯定感を高める手立てが必要であった。